



Veritas Implementation Guide

リリース *1.0.0*

EDB

2022 年 06 月 23 日

目次

第 1 章	‘Partner Information’	3
第 2 章	‘Solution Summary’	5
第 3 章	‘Configuring the Integration’	7
3.1	前提条件	7
3.2	Veritas NetBackup for PostgreSQL の構成	7
3.3	EDB Postgres Advanced Server の構成	8
第 4 章	‘Using Veritas NetBackup for PostgreSQL’	11
4.1	バックアップの実行	11
4.2	バックアップの照会	11
4.3	リストアの実行	11
4.4	ローカル復元	12
4.5	リダイレクトされた復元	12
第 5 章	‘Certification Environment’	13

EDB GlobalConnect テクノロジーパートナー実装ガイド

Veritas NetBackup for PostgreSQL

第1章 ‘Partner Information’

1	2
Partner Name	Veritas
Partner Product	NetBackup for PostgreSQL
Web Site	https://www.veritas.com/
Version & Platform	NetBackup for PostgreSQL 9.1: Linux, Windows
Product Description	NetBackup gives enterprise IT a simple and powerful way to ensure the integrity and availability of their data – from edge to core to cloud. NetBackup for PostgreSQL Agent extends the capabilities of NetBackup to include backup and restore of PostgreSQL databases.

第2章 ‘Solution Summary’

NetBackup は、ビジネスクリティカルなアプリケーションの自動化されたリカバリとリハーサルを通じて、保証とコンプライアンスのための回復力計画を検証する非停止的な方法を提供します。データ損失のリスクなしに必要なときに必要な場所でデータを移動し、アプリケーションを起動するには、ビジネスレベルの復元力が必要です。Veritas NetBackup for PostgreSQL エージェントは、NetBackup の機能を拡張して、PostgreSQL データベースのバックアップとリストアを含めます。NetBackup 環境が組織内で動作している場合、ユーザーは Veritas NetBackup for PostgreSQL エージェントを使用して EDB Postgres Advanced Server および EDB Postgres Extended Server をバックアップおよび復元できます。

第3章 ‘Configuring the Integration’

PostgreSQL データベースのバックアップ/リストア用の VeritasNetBackup ソリューションを実装するには、次のコンポーネントが必要です。

EDB Postgres Advanced Server。

- ベリタス NetBackup サーバー。
- ベリタス NetBackup クライアント。
- Veritas NetBackup Agent for PostgreSQL。

3.1 前提条件

- 実行中の EDB Postgres Advanced Server。
- 実行中の Veritas NetBackup サーバー。
- EDB Postgres Advanced Server ホストにインストールされた Veritas NetBackup Client。
- EDB Postgres Advanced Server ホストにインストールされた Veritas NetBackup PostgreSQL エージェント。

Veritas NetBackup for PostgreSQL の構成は、次のコンポーネントの構成で構成されます。

- Veritas NetBackup Agent for PostgreSQL。
- PostgreSQL サーバー。

次の手順は、EDB Postgres Advanced Server 用に Veritas NetBackup for PostgreSQL を構成する方法の例を示しています。

3.2 Veritas NetBackup for PostgreSQL の構成

1. NetBackup 管理コンソールにログオンします。
 - a. **root** ユーザーの資格情報を使用します
 - b. 管理する NetBackup マスターサーバーのホスト名を選択します
2. EDB Postgres Advanced Server のポリシーを作成します。

注釈: ポリシーの詳細は [Veritas NetBackup Administrator's Guide](#) を参照してください。

- a. [NetBackupManagement]>[Policies] をクリックし、NetBackup サーバーを選択します。
 - b. マウスを右クリックして、**新しいポリシー** を選択します
 - c. **新しいポリシーの追加** ダイアログボックスにポリシー名を入力し、[OK] をクリックします
 - d. e. [**Clients**] タブを選択します。 **New** をクリックします。 **AddClient** ダイアログボックスに NetBackup クライアント名を入力し、 **OK** をクリックします。
 - g. **属性** タブを選択します。 **ポリシータイプ** で **DataStore** を選択します
 - i. 使用可能な値から **ポリシーストレージ** を選択します
 - j. ポリシーに必要なその他のパラメーターを設定し、[**OK**] をクリックします
3. NetBackup クライアントで、エージェント構成ファイル/usr/NBPostgreSQLAgent/nbpgsql.conf を更新して、エージェントが EDB Postgres Advanced Server で正常に動作するように必要なパラメーターを設定します。

注釈: ****PGSQL_LIB_INSTALL_PATH****の値は、インストールされている EDB Postgres Advanced Server のバージョンによって異なります。 ****MASTER_SERVER_NAME****および****POLICY_NAME****パラメーターの値は、それぞれ NetBackup マスターサーバーおよびデータストアポリシーの名前と一致する必要があります。

上記のサンプル構成ファイルでは、デフォルト値は Postgres のため、**DB_USER**、**DB_PORT**、**DB_INSTANCE_NAME**、および **PGSQL_LIB_INSTALL_PATH** の値が EDB Postgres Advanced Server に置き換えられています。パラメーターの詳細は [Veritas NetBackup for PostgreSQL Administrator's Guide](#) を参照してください。

3.3 EDB Postgres Advanced Server の構成

以下の手順を使用して、EDB Postgres Advanced Server サーバーで WAL アーカイブを設定します。WAL アーカイブは、Postgresql / EDB Postgres Advanced Server データベースサーバーをバックアップ/リカバリ操作用に準備し、バックアップ/リカバリツールがデータベースサーバーで動作するための前提条件です。

1. 目的の場所に書き込み可能な<archivedir> ディレクトリを作成します。
2. postgresql.conf ファイルで必要なパラメーターを設定して、WAL アーカイブをオンにします。

注釈: archive_command パラメーターの`<archivedir>`を、手順 1 で作成したディレクトリの場所に置き換えます。

3. PostgreSQL サーバーを再起動します。

EDB Postgres Advanced Server for Veritas NetBackup Agent for PostgreSQL を構成する方法の詳細については、

Veritas NetBackup for PostgreSQL Administrator's Guide を参照してください。

第4章 ‘Using Veritas NetBackup for PostgreSQL’

Veritas NetBackup for PostgreSQL を使用した PostgreSQL データベースの一般的なバックアップ/復元操作は次のとおりです。

- バックアップの実行 - データベースのバックアップを取り、所定の場所に保存します。
- バックアップの照会 - 使用可能なデータベースバックアップをリストします。
- 復元の実行 - 以前に取得したバックアップからデータベースを復元します。 - ローカル復元 - データベースファイルはクライアントと同じホストに復元されます。 - リダイレクトされた復元 - データベースファイルはクライアントとは異なるホストに復元されます。

4.1 バックアップの実行

データベースのバックアップを作成するには、NetBackup クライアントで次のコマンドを入力します。

```
/usr/NBPostgreSQLAgent/nbpgsql -o backup
```

4.2 バックアップの照会

使用可能なデータベースバックアップをリストするには、NetBackup クライアントで次のコマンドを入力します。

```
/usr/NBPostgreSQLAgent/nbpgsql -o query
```

4.3 リストアの実行

データベースの復元は、次の2つのシナリオで実行できます。

- ローカル復元。
- リダイレクトされた復元。

4.4 ローカル復元

このシナリオでは、データベースファイルは元の（ソース）データベースサーバホストに復元されます（デフォルトオプション）。

ローカル復元を実行するには、以下の手順を使用します。

1. データベースサーバを停止します。
2. 復元操作に使用するデータベースファイルを保存するターゲットディレクトリを作成します。
3. 使用可能なバックアップを照会して、復元に使用するデータベースバックアップ ID を決定します。

```
/usr/NBPostgreSQLAgent/nbpgsql -o query
```

4. データベースファイルをターゲットディレクトリに復元します。

```
/usr/NBPostgreSQLAgent/nbpgsql -o restore -t <target-directory> -id <db-backup-id>
```

5. 復元操作が完了したら、データディレクトリ（PGDATA）をターゲットディレクトリの内容に置き換えます。

6. postgresql.conf ファイルで restore_command パラメーターを設定します。edb_notranlate_1
7. PostgreSQL サーバーを起動します。

4.5 リダイレクトされた復元

このシナリオでは、データベースファイルは、元の（ソース）データベースサーバーとは異なる（ターゲット）データベースサーバーホストに復元されます。

リダイレクトされた復元を実行するには、以下の手順を使用します。

1. ターゲットホストでデータベースサーバを停止します。
2. ターゲットホストにターゲットディレクトリを作成して、復元操作に使用するデータベースファイルを保存します。
3. ソースホストで使用可能なバックアップを照会して、復元に使用するデータベースバックアップ ID を決定します。

```
/usr/NBPostgreSQLAgent/nbpgsql -o query -C <source-db-server-host>
```

4. データベースファイルをターゲットホスト上のターゲットディレクトリに復元します。

```
/usr/NBPostgreSQLAgent/nbpgsql -o restore -t <target-directory> -id <db-backup-id> -C  
<source-db-server-host>
```

5. 復元操作が完了したら、ターゲットホスト上のデータディレクトリ PGDATA をターゲットディレクトリの内容に置き換えます。

6. ターゲットホスト上の postgresql.conf ファイルで restore_command パラメーターを設定します。
7. ターゲットホストで PostgreSQL サーバーを起動します。

第5章 ‘Certification Environment’

1	2
Certification Test Date	December 28, 2021
EDB Postgres Advanced Server	11,12,13,14
Veritas NetBackup for PostgreSQL	9.1
Veritas NetBackup Server	9.1
Veritas NetBackup Client	9.1